

～ Smile いっぱい！ かがやく湯江っ子のために ～

SCRUM

島原市立湯江小学校

学校だより No.19

令和6年10月21日(月)

文責：校長 大槻浩二

Smile & Power up! 修学旅行



6年生は、10月17日から1泊2日で福岡・佐賀方面に修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、見学先では、それぞれ充実した内容の学習ができました。主な見学先は以下の通りです。

【1日目】

①ヤクルト佐賀工場

ヤクルト工場では、製品ができるまでの工程と衛生管理などの徹底などを学びました。ほとんどの工程で機械化になっており、驚くスピードで製品ができあがることにびっくりしていました。

②吉野ヶ里歴史公園

全長2.5kmの壕に囲まれた日本最大規模の弥生時代の環壕集落跡です。弥生時代全時期の多数の住居跡、高床倉庫群跡などが発掘、復元されています。そのスケールの大きさに驚き、弥生時代の人々の生活ぶりを学んでいました。

③福岡市防災センター

防災センターでは、火災のVR体験、煙体験、消化訓練、地震体験を行いました。どれも映像をまじえて緊迫感のある体験ができました。学校や家でもぜひ役立てて、防災のリーダーを務めてくれることを期待します。





【2日目】

④元寇資料館・西南学院大学(元寇防塁)

元寇資料館では、文永の役・弘安の役と二度に及ぶ蒙古襲来に関する両国の武具や矢田一嘯作の元寇絵などを見学しました。場所を移して、西南学院大学では、鎌倉幕府が九州各国の御家人などに石築地役として造らせた防衛施設の石積みを見学しました。教科書で学んだことですが、実際の資料を自分の目で確かめて深い学びとなりました。

⑤佐賀県立宇宙科学館

宇宙科学館では、宇宙発見ゾーン、佐賀発見ゾーン、地球発見ゾーンの3つのゾーンとプラネタリウムなどがあり、参加体験型の展示物を通して、科学を楽しく学ぶことができました。



今回の修学旅行のめあては「見聞を広げる」「絆を深める」「5分前行動」の3つでした。それぞれが3つのめあてを意識して、しっかりと達成ができ Smile ippaiの修学旅行となりました。

本物の力にする 本物の力を問う

宿泊体験学習、修学旅行と学校を離れて宿泊を伴う学習が続いた。

出発式等で子どもたちに「本物の力」という話をする。まずは、教科書で学習したことをもとにして、実際に見たり聞いたり考えたりすることで「本物の力」として身につけてほしいということ。

また、これまでの積み重ねや普段の生活習慣や規律などが、本当に身につく「本物の力」となっているのか、学校外で多くの人と交流する中で試されるということ。

家庭での生活習慣も同じだ。

必要な物の準備や管理、あいさつや食事のマナー、歯磨きなどの生活習慣など、これまでの経験が見えてくる。

子どもたちが外に出て困らないようにこれからも「自立」に向け、たくさんさんの経験を積み重ねて「本物の力」をたくさん蓄えてほしい。

学校の取組が「本物の力」となって実感できたものもたくさんある。

あいさつや礼儀など、「あすなるそうち」の取組を中心に取り組んでいる成果が実感できた。

卒業まで半年。学校のリーダーとして後輩たちに姿で示し、本校のよき伝統として残すべく、さらにがんばってほしい。

見えてきた成果は自信に、課題は今後の目標に置き換え、さらなる「本物の力」へと磨き上げていきたい。